

といろ通信

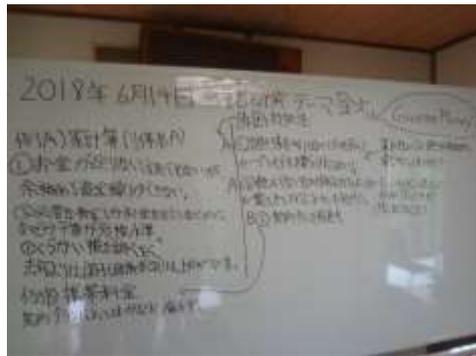
2018年07月

第72号(文月)

梅雨で蒸し暑い日々がやってきていますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか？夏本番までもう少しの辛抱ですが、体調等お変わりありませんか？「こんにちは！」という木曜日スタッフの川澤岳也です。今回のといろ通信もどうぞ最後までお付き合いください。よろしくお願ひします。

実は今号で、前回予告した通りに地元の紫陽花(あじさい)の名所に取材に行こうとしたのですが、体調不良と天候不順とで、気が付いたらアジサイの花の見過ぎで過ぎてしまいました(大汗)。またしても二番煎じが通用しないという事が分かりました。アイタタタ・・・まあ、落ち込んでも仕方がないので、今回は新しい試みをやってみたいと思っています。通信後半にまたこの

点に触れたいと思っていますので、ご期待ください。では、先月(6月)の居場所としての動きから・・・。

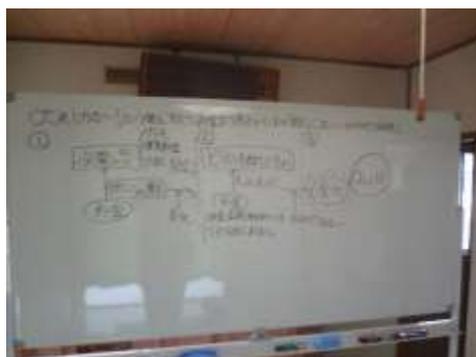


先月・6月14日(木)に、といろ2階にて、久しぶりの当事者研究を行いました。テーマは「金欠」でした。ここに掲載したホワイトボードの写真は、その時の板書の表面の写真です。この場では、まずその日の集まりに参加した、当事者AさんとBさんの事例について、一部始終を簡潔に述べるというやり方で話し合いが始められました。とりあえず、事例公開について本人の許可が下りた当事者Aさんの場合について触れ

たいと思います。Aさんは①お金が必要に感じて入ってこなくて、余裕ある資金繰りが出来ないことで悩んでいます。②生活の中で、必要なものしかお金を出してないはずなのに、なぜかお金がどんどん減っていく、というシリンマを抱えています。予算がいっても危険水準だったのです。③そしてどうにかしようと思ってももついている小遣い帳を調べてみたら、去年の同じ頃よりは経済の安全性は高まっている、という事が分かったのです。それで困ってしまっ、どうしたら「金欠」から脱出できるだろうと、対処法を考えることにしました。Aさんは精神世界の勉強をしていたので、ある種非現実的な、普通の人が行うのとは違う資金繰りの方法についての解決法を適用してみることにしました。そこで、原因として思い浮かんだのが、おサイフの中が厳しくなり始めた頃から、趣味を止めてしまっていたことでした。他に思い浮かんだことと言えば、その頃(趣味の中断)からカフェインを控えるようにしていたことでした。(これは当

事者研究の後日談になるのですが、Aさんがまた趣味をやり始めたら、翌日に資金難は解消されたそうです。)

その他にも、当事者Bさんの事例が明らかにされ、そのことを踏まえてホワイトボード裏面の内容に話し合いが移りました。そこでの意見交換の結果がここに書いてある内容です。写真をご覧下さい。



その上で以上の事が明らかにになりました。「金欠の法則」とも言うべき事柄でしょうか？とりあえず書いてみたいと思います。

〈裏面に続く〉

〈表面からの続き〉

「金欠の法則」

①生活の中でどうしても「必要な」もの(この段階では生活必需品)があることが分かり、とりあえずお金を払って入手する。

②最初、どうしても「必要だった」もの(生活に必要な物)がどうしても「欲しい」物に変わってしまう。それで、お金をどんどんつぎ込むようになる。当然資金繰りが怪しくなり始めるのだが、買いたい物が「止められない、止まらない」。

③その結果として「金欠」に陥る。

かなり大雑把なまとめ方ですが、「金欠」はこういうパターンで進行していくことが解りました。私自身、この日になるまでこんな法則があるとはきちんと理解していた訳ではなく、集まりの中で話してみても初めて分かったことだったので、これは結構意味のある発見なのではない

か?と思いました。世間にはこの法則を使ってお金を稼いでいる人もいるようなのですが、お金が無くなって、生活が破たんする段階までお金を使わせるということとはやってはいけないと思います(多分、ネットゲームの「ガチャ」とかはこの法則で動いているのではないのでしょうか?)。とは言っても「自己責任だよ!」と言われればそれまでなのかもしれませんが、お金と縁を切ろうとしても人生を生きている限りお金とは付き合わなきゃいけないので、なるべく賢くお金を使いたいものです。

さて、今回のという通信の前半で触れた、〈新しい試み〉についてやってみたいと思います。何ということではない話なのですが、とりあえず行ってみたいと思います。OKですか?実はプラモデルに関する写真です。何枚か写真を挙げて、何のキットか考えて下さればと思います。というのでひきこもり当事者の親御さん(2名)にそのプラモデルに関する話をしたので、「さっぱり分からない

い!」という反応が返ってきました(汗)。では、問題のキットの写真です。



さあ、これだけで何のキットか判りますか?ヒントは「機動戦士ガンダム」の主人公機のサポート役。お分かりの方はお便り(メール)下さい。お待ちしております。〈では皆様、また来月!〉

居場所「という」の所在地は
〒781-5102
高知市大津甲969-3です。
TEL・FAXは
088-821-6519
メールアドレス

aqw3dr9k@globe.ocn.ne.jp

または

skatoiro1016@gmail.com

お便り、お待ちしております。
相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。

へというスタッフからのお願い
・初めて来所される方はどうぞお読みください

というは月・火・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています(ご注目! 開所曜日が一部変更になりました!)。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただくと助かります。というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでくれたらと思います。最寄りのとさでん交通電停は「領石通」です。お菓子と飲み物など(麦茶・ジュース類)があります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版 第一部・第二部と第四部が揃っています。第三部を揃えるかは未定です。。。漫画版「君たちはどう生きるか」もあります!